

川崎マリンロータリークラブ Rotary



2024～25年度 RIテーマ

例会 毎週木曜日12:30

例会場 煌蘭 ダイスビル6 F

TEL : 044-245-0018

事務局 〒210-0004 川崎市川崎区大島1-26-13-1F

TEL : 044-200-9249 FAX : 044-200-9252

E-mail marin-rc@eagle.ocn.ne.jp



会長 伊藤恒満



副会長 林 伸彦



幹事 石田 生

- ★司会 小松崎 彩子 会員
 - ★点鐘 伊藤 恒満 会長
 - ★ロータリーソング 「我らの生業」
- 指揮者：山崎美津夫 会員 ピアノ：野口 四郎 会員

ゲスト紹介 伊藤恒満 会長



川崎区社会福祉協議会 会長 島田 潤二 様



川崎区社会福祉協議会 局長 石川 直和 様



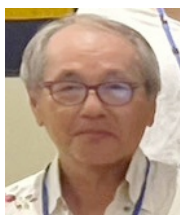
川崎区社会福祉協議会 地域課 課長 大竹 直哉 様



川崎区社会福祉協議会 地域課 手嶋 俊平 様



川崎区社会福祉協議会 地域課 米島 奈穂 様



・(株)小俣商店 代表取締役 会長
・川崎南ライオンズクラブ 副会長 次年度会長
小俣 善久 様

地区補助金プロジェクト贈呈式

精米1トン前後(数量未確定)を伊藤会長から社会福祉協議会の島田会長へ贈呈。

プロジェクトの内容

川崎区内の子ども食堂や貧困家庭への食料支援を行っている川崎区社会福祉協議会へ精米を贈るプロジェクト。

贈呈する精米は小俣商店の小俣様に御協力をお願いした。このお米でたくさんのご家庭にお役立ちできることを祈念します。



出席報告 森山宏之 出席委員長

会員数	出席率 該当者	出席者	欠席者	ホームクラブ 出席率	マーク アップ	修正 出席率
35	29	23	6	79.31		
(備考)						

会長報告 伊藤恒満 会長

- 8月25日(日)「第29回かわさきロボット競技会」が開催される。会長は審査員として参加。
- 9月3日(火)「クラブ米山記念奨学委員長会議」が開催される。
- 9月10日(火)「クラブ奉仕プロジェクト委員長会議」が開催される。
- 10月8日(火)地区大会記念「ポリオ根絶チャリティーゴルフ大会」が相模原ゴルフクラブにて開催される。現時点では増田(敏)さんの参加予定。
- ロータリー・リーダーシップ研究会(RIL)が9月13、17、20日にZOOM開催される。詳細は事務局よりメールが配信されている。

幹事報告 石田 生 幹事

- 9月2日(月)「第2回会長・幹事会」が開催される。伊藤会長と参加。

*近隣RCからのお知らせ

○ありません

*週報を送ってくださったRC

○ありません

今後の予定

- 8月29日 休会
- 9月 5日 映画『水色に染めろ!』制作委員会 企画プロデューサー 川崎大師本通り商店会 副会長 松原様による卓話 富津シティRCさんより表敬訪問に宮崎会長をはじめ5名がご予定
- 12日 森山会員による卓話

委員会報告

○鈴木慎二郎 会員

「RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)」の件 RLIラーニングはクラブや地区の更なる発展を願いロータリアンのモチベーションを高め正しく深い知識を持ち高い指導力を養成するためのプログラムです。以前に受講した方も内容が更新されているので是非ご参加ください。皆さんがご参加しやすい様にZOOMの受講になっています。

日時 9月13日(金)17日(火)20日(金)
18:00～20:30

◆松中会員

入院、リハビリ、3ヶ月長い療養生活でした。お世話になりました。

◆野口会員

社会福祉協議会の皆様、本日はご来訪くださりありがとうございます。小俣善久様この度は大変お世話になっています。

◆増田(敏)会員

猛暑お見舞い申し上げます。適度な休養と水分、ミネラルの補給で健康に過ごしましょう。

◆鈴木会員

川崎社会福祉協議会の皆様ようこそお越しくださいました。宜しく願い申し上げます。

◆河口会員

社会福祉協議会、手嶋様本日は宜しく願い致します。

◆小山会員

ロータリー財団の地区補助金を有効活用しましょう(〇) そのためには皆様からの日頃の御寄付が重要となりますので御理解、御協力お願い申し上げます。by地区ロータリー財団資金推進委員会

◆安本会員

本日もよろしく願います。

◆山崎会員

社会福祉協議会の皆様、小俣様、本日はお越しいただきありがとうございます。おいしいお米を子ども達におなかいっぱい食べさせてあげてください。

◆三役(伊藤会長 林副会長 石田幹事)

川崎区社会福祉協議会、島田会長様、石川局長様、大竹課長様、手嶋様、米島様、ようこそお越しいただきました。また、奉仕プロジェクトの件でお世話になっております(株)小俣商店、代表取締役会長 小俣善久様、本日はありがとうございます。手嶋様、卓話の方宜しく願い致します。

本日のニコニコ **36,000円**
(川崎区社会福祉協議会様より御祝含む)
累計金額 **178,000円**

本日の卓話



『子どもの食糧支援について』

川崎区社会福祉協議会
地域課
手嶋 俊平 様

経緯

コロナの影響により、令和2年3月から一斉休校。
→給食がなくなり、ネグレクトや生活困窮世帯等で食事を満足に取ることができない・取れているかが気がかりな子どもがいるとの相談が入る。
→子どもの「命をつなぐ」ため、川崎社協と連携し社会福祉法人(施設)、企業などの協力を得ながら、緊急一時的に食糧支援を開始。

※併せて支援世帯のアセスメント、自立支援や見守り等を行う。

経過

コロナの影響による緊急一時的な取り組みとして食糧支援を始めたが、食糧のもたらす効果や貧困・虐待等により食糧を必要としている子どもが常態化していることを受け「関係機関」より取り組みを継続してほしいとの要望が寄せられ支援を継続。
※川崎市内の児童虐待相談・通告件数は約5,500件、川崎区は市内で最も高い1,270件。(小学生32% 乳幼児46%)

コロナ5類以降の現状について

- 厚労省「国民生活基礎調査」で6割が生活が苦しいと回答。2022年度より0.3%上昇。(約4,700世帯が回答)
- 子どもの相対的貧困率は2021年の調査より改善されたが、ひとり親世帯では44.5%が未だ困窮であると回答。
※母子・父子世帯数が、市内全域では約5,500世帯、川崎区では約1,100世帯で市内で最も高い数値。(国勢調査より)
- 貧困問題に取り組むNPO法人キッズドアのアンケート調査では、子どもの夏休みを負担に感じている世帯が多い。

コロナ5類移行後も継続的な支援は必要

ただ、食糧を渡すだけでは社会福祉協議会が行う意味がない！
+αも目的に行いたい！！

食糧支援の効果とは

支える側は

- ◎面談時の緩和剤になる。
- ◎訪問の際、食糧があることで受け入れて(ドアをあけて)もらうことができた。
- ◎虐待のリスクのある家庭の生活状況を把握することができ、必要な機関との連携が図れた。

子ども、家庭は

- ◎食べることで、ゆとりが生まれる。
- ◎長期休みで給食のない期間に体重を落とさずにすんだ。
- ◎収入減や物価高の影響により家庭は苦しいが生活を維持することができた。
- ◎子どもたちが笑顔になることで親の心も柔らかくなる。
家庭が明るくなる！生活力の向上、学習意欲維持。

子どもや家庭の励みになる！

食糧支援活動からの展開 ～皆で支える地域のつながり～

- ☆地域の力によって学校が長期休みに入るタイミングで食糧支援を「地区社会福祉協議会」や「各団体」が実施(定期的に)
→「みんなのごはん」と称して実施
- ☆食糧支援をしても親が調理のできない世帯があるという課題を関係機関へのヒアリングで把握。
子どもの柔軟性や吸収力を活かし子ども自身の生活力の向上を目指し
→「おにぎりキャラバン」と称して実施

みんなのごはん(食糧の配付)

- 学校に協力を得て、チラシを配付(実施団体が直接依頼)
→地域で活動する方々が子どもをきっかけとして学校とつながる
- チラシを見てみんなのごはんを申込んだ子ども(親)が食糧配付会場に来所。(会場は町内会館→町内会館があることを知る。)
- 食糧の配付を地域の方々が行う。
→多くの方々が子ども達のために集う。
- 食糧をお渡しするだけではなくミニイベントを設ける。
→地域の方々のアイデアで実施(じゃんけん、かき氷など)
→知らないおじさん、おばさんから見たことある人になる。
「みんなのごはん」を通じて地域のつながりが生まれる。

おにぎりキャラバン

- 学校や関係機関に協力を得てチラシの配付、掲示
→イベント的な要素もあり、気軽に参加。
- チラシを見て申込んだ子ども(親)が会場に来所。
(会場は社会福祉施設やこども文化センター)
- 教える人は地域の方々や施設の方
→ごはんの炊き方、おにぎりの握り方、食事の大切さを伝える。
- 自分の握ったおにぎりを参加したみんながおなか一杯食べる。
→笑顔が生まれる。交流が生まれる。

※手嶋様作成資料より抜粋。資料は事務局にございます。



クラブ会報担当委員：増田 敏雄

地区補助金プロジェクト贈呈式掲載記事

8月23日(朝刊)
東京新聞



川崎区社会福祉協に
精米1トンプレゼント

川崎マリーンRC

川崎マリーンロータリー
クラブ(RC)伊藤恒満
会長は22日、川崎区内
で、子ども食堂などに食糧
を配布している川崎区社会
福祉協議会(島田潤二会
長)に精米約1トンをプレゼ
ントする贈呈式を行った。
今年の新米を贈り、子ども
たちに炊き方やおにぎりの
作り方も教える予定。

伊藤会長が島田会長に目
録代わりの米袋を贈呈。島
田会長は「生活に困ってい
る人が増えてきた。温かい
支援に御礼申し上げたい」
と語った。続いて、同RC
に協力した米穀販売業、小
俣善久さんが「コメがない

川崎区社会福祉協議会の島
田会長(右)に米袋を手渡す川
崎マリーンRCの伊藤会長



原因は円安で海外から来る
人が増えたこと。来年も円
安だと足りなくなると、危
機感を持っている。単価も
上がっている」と話した。
同協議会はコロナ禍の緊
急的な取り組みとして食糧
支援を開始。貧困や虐待で
食糧が必要な子どもが常態
化しているとして、現在も
続けている。(橋本誠)

8月30日号 No.847
タウンニュース 川崎・幸区版
紙面版・web版

神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙



川崎マリーンRC

食糧支援に役立てて

米1トン 川崎区社協に

社会

川崎マリーンロータリーク
ラブ(伊藤恒満会長)が8月
22日、食糧支援に役立てて
もらおうと、川崎区社会福祉協
議会(島田潤二会長)に米1
トンを寄贈した。



伊藤会長(左)と島田会長

同クラブでは昨年、区社協
が子どもの食糧支援をテーマ
に卓話を行ったことを機に、地区補助金プロジェクトとして支援の準備を行
ってきた。寄贈を受け、島田会長は「あたたかい支援を賜った。さらなる地
域福祉の推進を図りたい」と感謝した。

区社協では現在、食糧支援に加え地域との関係性を強めるため、食糧を配
布する「みんなのごはん」、自分で作ったおにぎりを食べる「おにぎりキャ
ラバン」の2つの事業を実施。昨年度はみんなのごはんに約1500人が参
加し、約2トンの米が配布されたという。

伊藤会長は「実際にイベントなどにも参加し、支援活動を継続できれば」
と話していた。